

(C) Copyright CANVASs Co., Ltd.

=====

【ソフト名】 SST G1Pro アップデートインストーラ

【対象製品】 SST G1 Pro 日本語版 / 英語版

【登録名】 SST G1 Pro Ver.3.1.33

【アプリケーション名】 setup.exe

【著作権者】 株式会社カンバス

【動作環境】 Microsoft Windows 11 / 日本語版 / 英語版

【配布条件】 1) ダウンロードしたファイルの再配布を禁止します。
2) 他のメディアへの一切の転載を禁止します。

=====

<Ver.3.1.33> 2026.9

1) 仕様変更

－G1_Lock Ver1.1.2 対応

2) 機能追加

－最終チェック 項目追加、画面変更

3) 機能修正

製品をアップデートするにあたり、以下の注意点がございます。

該当する方は、注意事項をお読みいただいた上でアップデートしていただくようお願いいたします。

[○Ver3.1.26 以下からアップデートするユーザー様へ：必ずお読みください](#)

[○SSTG1Dub をご利用のユーザー様へ：必ずお読みください](#)

[○Ver3.1.13 をご利用のユーザー様へ：波形データ削除のお願い](#)

[○再インストール時のチケット消費に関する注意点](#)

[○再インストール後にショートカットキー等の設定を引き継ぐための注意点](#)

本バージョンアップによる変更内容

1) 仕様変更

ーよりセキュリティを強化した G1_Lock Ver1.1.2 で暗号化した映像ファイルを開けるようになりました。

G1_Lock Ver1.1.2 で暗号化した映像は、本バージョン以上の SSTG1 シリーズでないと開けません。

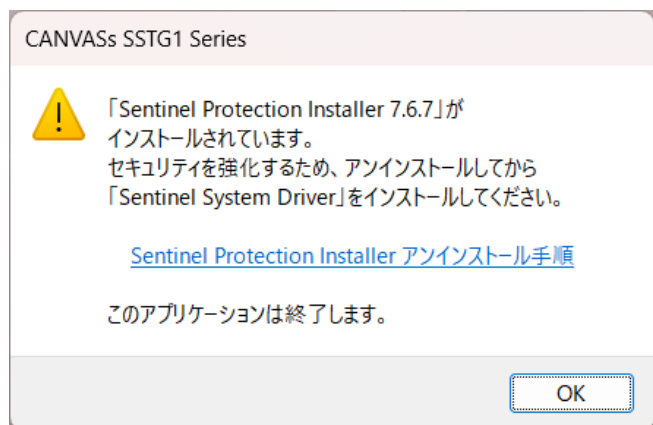
G1_Lock で暗号化した映像を使用されるユーザー様は、必ずアップデートを行ってください。

なお、G1_Lock Ver1.1.1 で暗号化した映像もこれまで通り開けます。

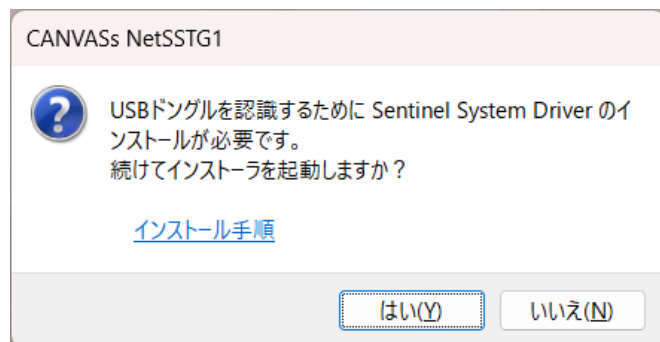
ーセキュリティ強化のため、ご利用の PC にインストールされている dongle ドライバが古いバージョンの場合、新しいバージョンに入れ替えを行うようメッセージが出ます。

アップデート後に「[Sentinel Protection Installer X.X.X] がインストールされています。セキュリティを強化するため、アンインストールしてから「Sentinel System Driver」をインストールしてください。」とメッセージが出た場合、古い dongle ドライバがインストールされている状態です。

[Sentinel Protection Installer アンインストール手順](#) に沿ってご自身でアンインストールしてください。



アップデート後に「USB dongle を認識するために Sentinel System Driver のインストールが必要です」とメッセージが出た場合、セキュリティを強化した新しい dongle ドライバをインストールする必要があります。[インストール手順](#) に沿ってインストールしてください。



2) 機能追加

●最終チェック

ーチェック項目を追加しました。

ーチェック項目をジャンルごとにタブ分けして見やすくしました。

チェック項目フィルター

ガイドライン フォーマット ルビ 斜体 文字 その他

☐ 1秒あたりの文字数制限(過剰) 2.0 文字以上オーバー

☐ 1秒あたりの文字数制限(不足) 2.0 文字以上不足

☐ 横字幕の設定文字数オーバー

☐ 縦字幕の設定文字数オーバー

☐ 2 行以上の字幕 ☐ 空行を含む

☐ 表示時間の警告

☐ 指定時間以上の字幕 00:00:01:00 以上

☐ 字幕間隔の警告

☒ 字幕間隔 2 ~ 2 フレーム(ABトラックをまたぐ)

全て選択 全てクリア

直前のチェックの設定 リスト操作...

現在の設定をリストに追加... 現在の設定を上書き保存 OK キャンセル

・最終チェック新規追加項目 (★は字幕 BOX にエフェクトあり)

タブ	チェックする項目	チェック内容	備考
ガイドライン	〇行以上の字幕	指定した行数以上の字幕。 「空行を含む」にチェックを入れると改行のみの行もカウントされる。	範囲：2～10行
	字幕間隔〇～〇フレーム (ABトラックをまたぐ)	指定したフレーム数の字幕間隔。ABトラックをまたいでチェックする。	範囲：0～20フレーム
フォーマット	ABトラックの表示位置重複	ABトラックで表示タイミングが重なっている字幕同士で、表示位置が重複している字幕。 ※横下同士、縦右同士などを検出 ※行配置(行頭、中頭など)はチェック対象外 ※自由位置が設定された字幕はチェック対象外	
ルビ	ルビのない漢字 (★ピンク)	ルビがついていない漢字が存在する。 検出対象はCJK 統合漢字/CJK 互換漢字/CJK 統合漢字拡張Aの4バイトの文字です。(6バイトの漢字は検出対象外)	時間がかかる場合あり
斜体	(〇〇) または- (〇〇) に斜体あり (★青)	字幕内の (〇〇) または- (〇〇) に斜体あり。	括弧は全角 -は半角
	(〇〇) または- (〇〇) を除外した斜体と正体の混在字幕 (★青)	字幕内の (〇〇) または- (〇〇) を除外した文字に斜体と正体が混在している。	括弧は全角 -は半角

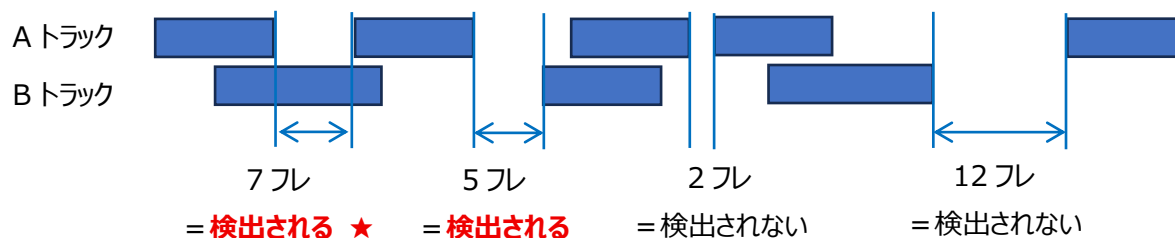
文字	全角文字の使用 (★緑)	全角文字が使用されている。	時間がかかる 場合あり
	半角文字の使用 (★緑)	半角文字が使用されている。	時間がかかる 場合あり

(補足)

■字幕間隔〇～〇フレーム (ABトラックをまたぐ)

ABトラックをまたいで字幕間隔をチェックします。下図★のようにもう一方のトラックに字幕が存在する場合も、同トラック上で字幕間隔が指定されたフレーム間であれば検出されます。

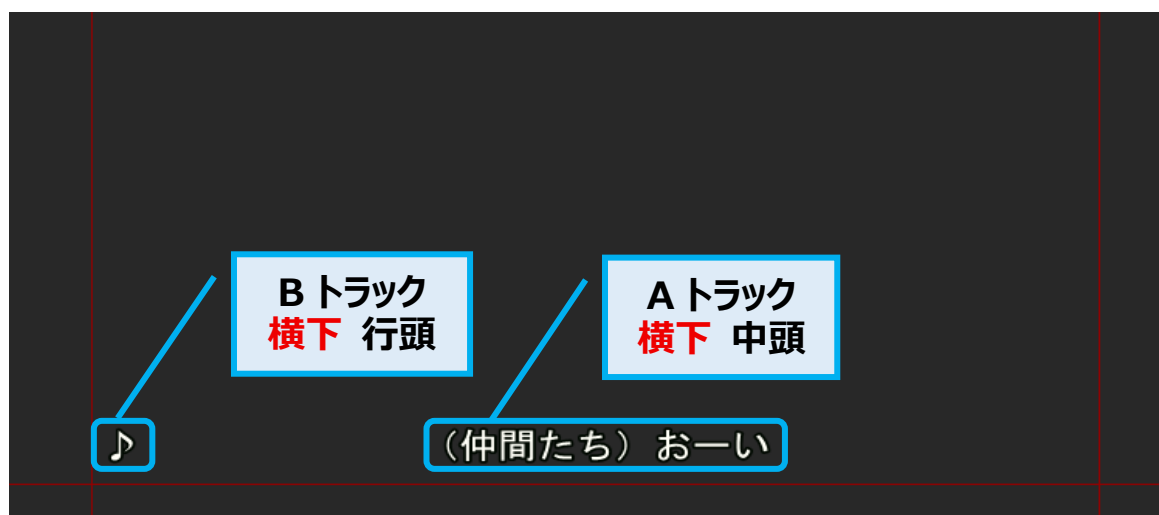
例) 「字幕間隔 3～11 フレーム」でチェック



■ABトラックの表示位置重複

ABトラックで表示タイミングが重なっている字幕同士で、表示位置が重複している字幕を検出します。

例) Aトラックが横下・中頭、Bトラックが横下・行頭の場合 = 検出される



斜体チェックについて

字幕に話者名を入れる際、ほとんどの局や配信会社のルールでは、セリフは斜体でも話者名は正体にす
るよう指定されています。このため、話者名入りの斜体字幕は、従来の「斜体と正体の混在字幕」のチ
ェックで必ず検出されてしまい、期待するチェック結果を得ることができませんでした。

この点を改善するため、今回下記の項目を追加しました。

■ (〇〇) または- (〇〇) に斜体あり (★青)

セリフが正体か斜体かに関係なく、(〇〇) もしくは- (〇〇) の文字が斜体になっていないかをチ
ェックします。

例) (話者名) 表記でセリフ部分が斜体の場合

(田中) *その話は本当?*
(佐藤) ああ



(〇〇) に斜体があるため検出される。

(田中) *その話は本当?*
(佐藤) ああ



(〇〇) がすべて正体であれば、
セリフが斜体でも検出されない。

■ (〇〇) または- (〇〇) を除外した斜体と正体の混在字幕 (★青)

(〇〇) もしくは- (〇〇) の部分を無視して、セリフ部分の斜体と正体の混在をチェックします。

例) (話者名) 表記でセリフ部分が正体と斜体の場合

(田中) *その話は本当?*
(佐藤) ああ



(〇〇) を除外したセリフ部分が混在字幕になっ
ているため、検出される。

(田中) *その話は本当?*
(佐藤) ああ



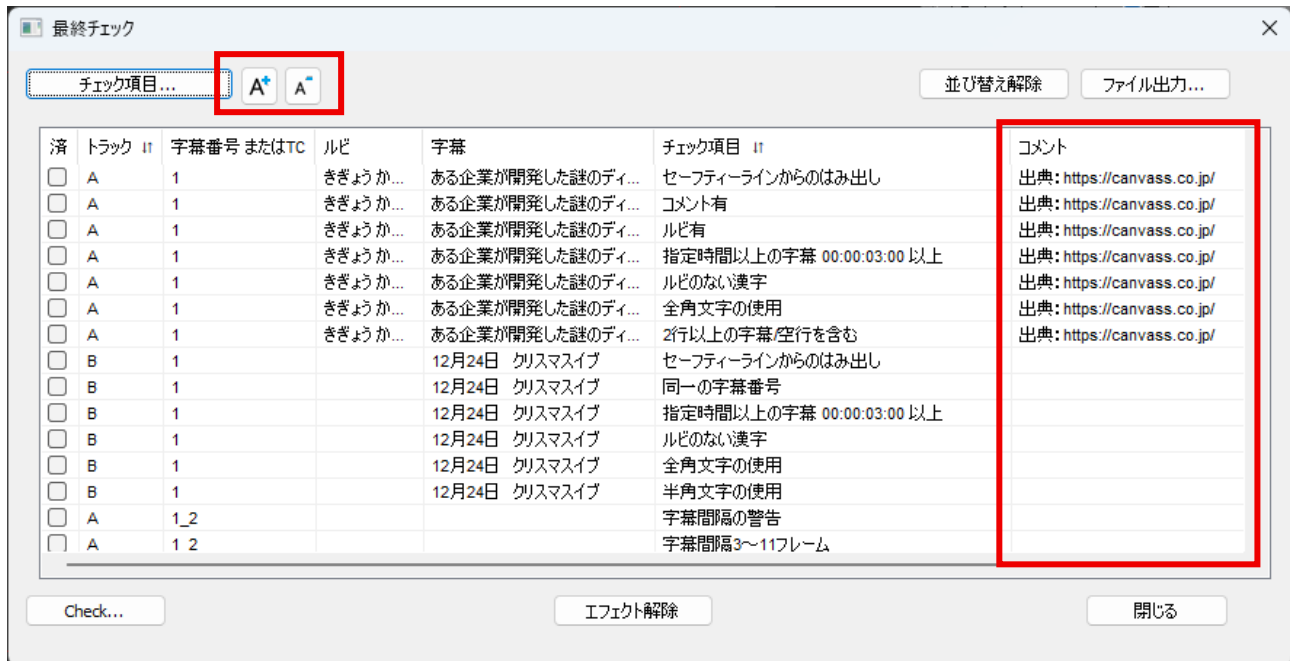
(〇〇) を除外したセリフ部分が混在字幕になっ
ていないため、検出されない。
※従来の「斜体と正体の混在字幕」では検出される

【ご注意ください！】

話者名とセリフの区別は () や - () の記号だけが基準になります。このため、実際は話者名でな
くても、行の先頭でこれらの記号で括られていれば話者名扱いとなり、除外対象となってしまいますの
でご注意ください。

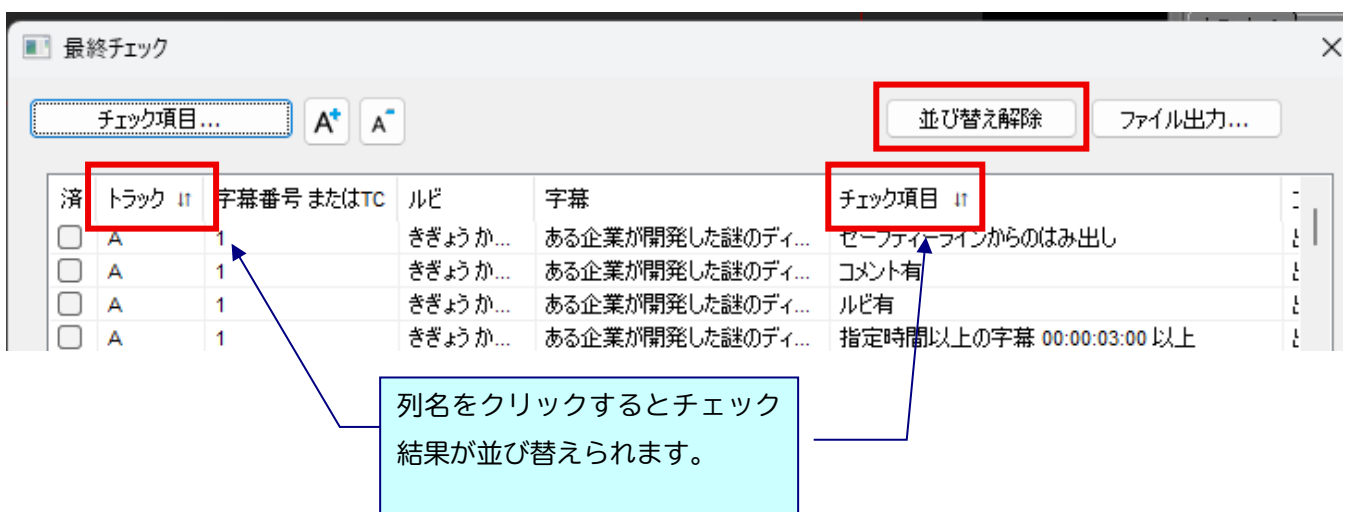
ー最終チェック結果画面に「コメント」列を追加しました。

ー最終チェック結果画面の文字サイズを、画面左上の   ボタンで変更できるようになりました。



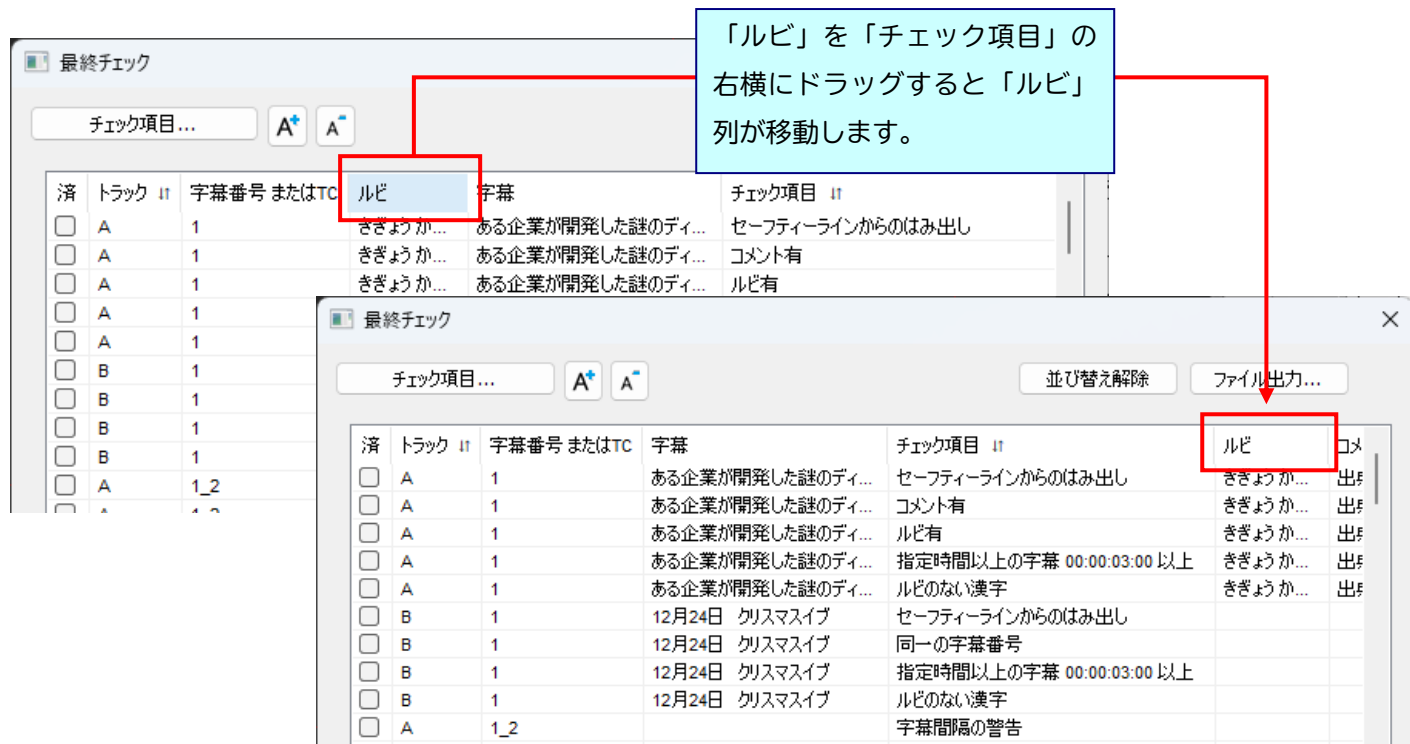
ー最終チェック結果を並び替え（ソート）できるようになりました。

デフォルトではタイムコード順に並んでいますが、「トラック」もしくは「チェック項目」で並び替えができるようになりました。一度列名をクリックすると昇順、もう一度押すと降順に並び替えられます。並び替えを解除したい時は画面上部の[並び替え解除]ボタンを押すとデフォルトの並び順に戻ります。また、一度最終チェック結果画面を閉じて開き直すとデフォルトの並び順に戻ります。



－最終チェック結果の列が入れ替えられるようになりました。

列名をドラッグしながら入れ替えたい位置に移動させることで列の入れ替えができます。

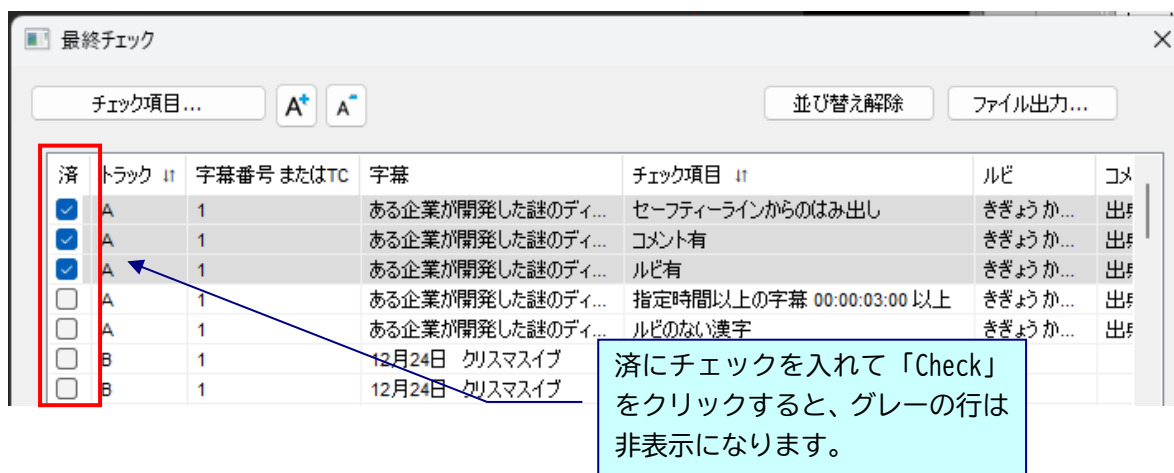


－「済」にチェックを入れた行がグレーになるようにしました。

なお、チェック項目「無効な改行コード」「無効な文字コード」の行は対象の文字コード・改行コードを必ず削除する必要があるため「済」のチェックは入れられません。

－「済」にチェックを入れた状態で再度最終チェックを実行すると、チェックが入っている行は非表示になるようにしました。

非表示にした行は、最終チェック画面を一度開き直してチェックを実行すると再度表示されます。



3) 機能修正

●ガイドライン

●最終チェック

－ユーザー設定－[ガイドライン]タブの文字数(/行)(縦)で「組文字は 1 文字としてカウントする」を有効にしていると、特定の字幕で 1 行あたりの文字数が正しくカウントされない問題を修正しました。最終行以外の行末に組文字が入っている字幕において、文字数(/行)(縦)の「組文字は 1 文字としてカウントする」を有効にしていると、次の行の文字数と合算されてしまい、以下の問題が起こっていました。

①ガイドラインの警告  がでてしまう。

②最終チェックの「縦字幕の設定文字数オーバー」が正しく検出されない。

例)

もうすぐ
出るらしい
ね？
インドウズ
12

←1 行目の末尾の「12」に組文字が設定されている場合、

「組文字は 1 文字としてカウントする」が有効なら本来 1 行目は 11 文字とカウントされるはずが、2 行目と合わせて 18 文字とカウントし、警告  が表示されてしまっていました。

今回の修正では、上記①②ともに正しい結果になるよう対応しました。

なお、字幕ウィンドウの 1 行あたりの文字数の数字（下図赤丸）は以前から正しく表示されているため修正対象には含まれません。

61	
05:02	
0061	もうすぐインドウズ12 出るらしいね？
	11 7

●ユーザー設定

－ユーザー設定－[ガイドライン]タブの文字数(/行)(縦)にて「組文字は 1 文字としてカウントする」を有効にしていると、特定の字幕で「パラメータが間違っています」とエラーが出て操作不能になる問題を修正しました。

組文字を設定している字幕において、エクセルのインポートによる上書きや古いバージョンでの字幕情報一括削除をした際に、不要な組文字情報が残ってしまうことがあります。ユーザー設定－[ガイドライン]タブの文字数(/行)(縦)にて「組文字は 1 文字としてカウントする」を有効にして、当該字幕を選択するとエラーが出て操作不能になってしまうことがあるため、正常に操作できるよう修正しました。

●字幕検索

－字幕検索後に Pageup/Pagedown を押した際、入力カーソルが本来と違う箇所に移動してしまう問題を修正しました。

ユーザー設定－[画面表示]タブの「PgUp/PgDn 時にカーソルを常に入力可能状態にしておく」を有効にした状態で、字幕検索直後にコメント欄に文字を入力し、Pageup/Pagedown を押すと、コメント欄ではなく字幕 or 原文欄にカーソルが移動してしまうことがあります。同様に、原文欄に文字入力をしていても Pageup/Pagedown を押すと字幕欄にカーソルが移動するなど、直前の選択欄と異なる欄に移動してしまう問題がありました。

本修正では、Pageup/Pagedown を押した際、直前に入力していた欄と同じ入力欄内でカーソルが移動するように修正しました。

●G1_Lock

－ユーザーID が 17～32 文字のドングルで G1_Lock で暗号化した映像を開いた際、映像上に表示されるウォーターマークに不要な■が出る問題を修正しました。